

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		仙台市袋原たんぼぼホーム		公表日		令和7年3月19日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		定員に対してのスペースは基準を満たしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		今年度は欠員があったが、基準を満たした職員配置はしている	職員がたりない時がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		活動ごと場所を分ける、全体の流れや作業の手順、活動の開始や終了等を視覚化する等、発達段階に応じて見てわかる工夫につとめている。また、保護者とも意図を共有している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		感染予防のため引き続き清掃・玩具の消毒・換気を実施してきた。	手を洗う蛇口が伸びると洗いやすくなると感じています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		子どもの状態や、コンディションに合わせて個別に対応できる場所を準備している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		長期的な計画と短期的な計画の立案をしている。保育活動後は、個別に様子を記録し、職員で共有する時間を設けている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケートの結果を開示している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		園長、主任が個別面談を行い、聞き取る時間を設けている	様々な意見がでるが、業務改善につながるまでに時間がかかる	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アーチルの定期訪問等で、ご意見や、ご指導をいただいている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		園内、法人研修を実施し職員のスキルアップに努めている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		たんぼぼガイド等で、支援プログラムの内容を保護者に向けて伝えている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		個々の特性や成長の具合を把握し、保護者、本人の思いを聞きとったうえでしっかり話し合いをしながら支援計画を作成している		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児発管、クラス職員で支援会議を行い、共通理解の下で作成している		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		クラス活動・個別活動の中で目標に合わせた支援を取り入れている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントシートを使っでのアセスメントの他、日々の反省の中で、アセスメントをして確認をケースに記録をしている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		子どもが取り組みやすいような具体的な計画を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		クラスごとに3期に分けて立てた指導計画をともに、月ごとの活動内容、目標を定めて行っている		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	ルーティン活動は、あえて固定化しその他は子どもに応じて興味、関心が持てるようなプログラムを毎回工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	活動の計画を立て、必ずその日の反省を行い活動を振り返り記録をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎朝全体で確認している。時間差で出勤する職員にも伝達するため、打ち合わせノートを活用している。バスの乗降車については全員でチェックをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	活動終了後に全体の反省で他クラスの状況も把握している。	効率よく会議を進めていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々の記録を行い、支援計画作成時に記入内容を振り返っている。また、支援内容に沿って記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	年2回以上の支援計画を作成し、見直しをしている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	センターと事業所を併用している児がいる場合に、担当している保育士、看護師等が担当者会議に参加し情報を交換している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	子ども病院、保健センター等と連携し支援をおこなっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	ホームでの姿と活動中の係り方の工夫を「移行支援シート」を使って伝え、対応を考えるうえでの手がかりとしていただいている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	対象児がいません	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○	市内11センターと連携をし、職員の合同研修等を行っている。会議（園長、主任、多職種、地域相談員）で情報交換を行っている	センターとの連携はしているが、事業所との連携は少ない
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	法人、園内研修の他、外部研修を受講し、専門性の向上、支援の充実を図っている	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	地域の子育てネットワークに参加している	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	職員の階層、職種別の研修会に参加し、指導、アドバイスを受ける機会を設けている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	毎年、隣接保育園とは、交流保育を行っている。地域の行事にも家族で参加ができる機会を設けている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	集団活動を通して子どもの強みや苦手を共有し、支援の手立てを一緒に考えている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	ペアトレの中でこどもへの係わりかた、ほめ方、環境調整等を学ぶ機会を設けている		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	入園説明会に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	支援計画作成前に個別面談を行い、移行を確認する機会を設けている	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画面談の中で同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個別活動の日や面談時に保護者の思いや困りごと等を聞き取り、対応について一緒に考える場を設けている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		グループワークとしての保護者同士の懇談（親睦を図る）の場を設けている	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		個別での相談にタイムリーの応えていけるように、活動時間内や、活動後に時間を設け対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームだよりを毎月発行し、活動や行事予定を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		他の事業所との情報提供が必要な場合には、事前に家族の承諾を得て適正に取り扱っている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		分かりやすい声掛けとともにカード、写真、スケジュールボード等を使い、視覚的に伝えている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の行事等に参加しているが、地域の方を迎えての行事等は行っていない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し、保護者も常に閲覧できるようにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、毎月、災害に応じた避難訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者には入園時健康カードに記入をさせていただき確認を行っている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	保護者には入園時にアレルギーの確認を行っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記録をし、職員間で情報共有を行い、改善に努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月、虐待防止委員会を開き、職員で対応について話し合いを行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行うことはなかったが、やむを得ずおこなわなければならない時には十分に説明をし了解を得て行っていく。	支援計画の記載はしていない。	